

学校に行きづらい子どもがいる家庭 どうしている？

2025年度東部療育センター療育講座

SOW

SOW

不登校の子どもを
持つ保護者が運営

大きな家族になって
地域の中で育ちあう

生きるための種
をまく場

主な活動

横浜市港北区と神奈川区で活動をしているボランティア団体。

2021年に立ち上げて、今年で5年目。

学校に行きづらいと感じている小中学生とその保護者が対象

親子の居場所：毎週火曜日と月2回金曜日

親の会を月1回：第1日曜日

安心して過ごせるように

自分のペースで過ごせるとわかると、
少しずつ関心が外に向いていく



大きな家族のようになりたい

参加者の推移

2021年度のべ 678人
2022年度のべ 649人
2023年度のべ 988人
2024年度のべ 1228人

参加家族からの声



温かな環境で仲間と
過ごすうちに元気を
取り戻しました。



進学への挑戦ができました。
今も行きたい時には
SOWに参加できること
が、力になっています。



保護者の方たちと近況
を話したりできたこと
で気分的にだいぶ軽くな
りました。

一緒に子どもたちの成長を喜び合いたい

子どもたちに伝えたいメッセージ

自分もまんざらでもないな
世の中はあたたかいな
未来を楽しみにしてもよいかな



文科省は

- 取り巻く環境によって、どの児童・生徒にも起こり得る
- 問題行動として判断してはならない
- 学校に登校するという結果のみを目標にするのではなく、社会的に自立することを目指す必要がある

不登校児童生徒への支援のあり方について
(通知) 令和元年10月25日: 文科省





そうはいっても・・・

- ▶ 睡眠リズムの乱れ
 - ▶ お風呂に入らない
 - ▶ 運動不足
 - ▶ ゲーム・YouTubeばかり
- 



そうはいっても・・・

- ▶ 学校との連携に疲弊
 - ▶ 子どもはドタキャンが多く、お出かけも大変
 - ▶ お昼を週7日も用意するのは大変
 - ▶ うちの子らしい道が見つからない不安
- 

SOW

親の会体験

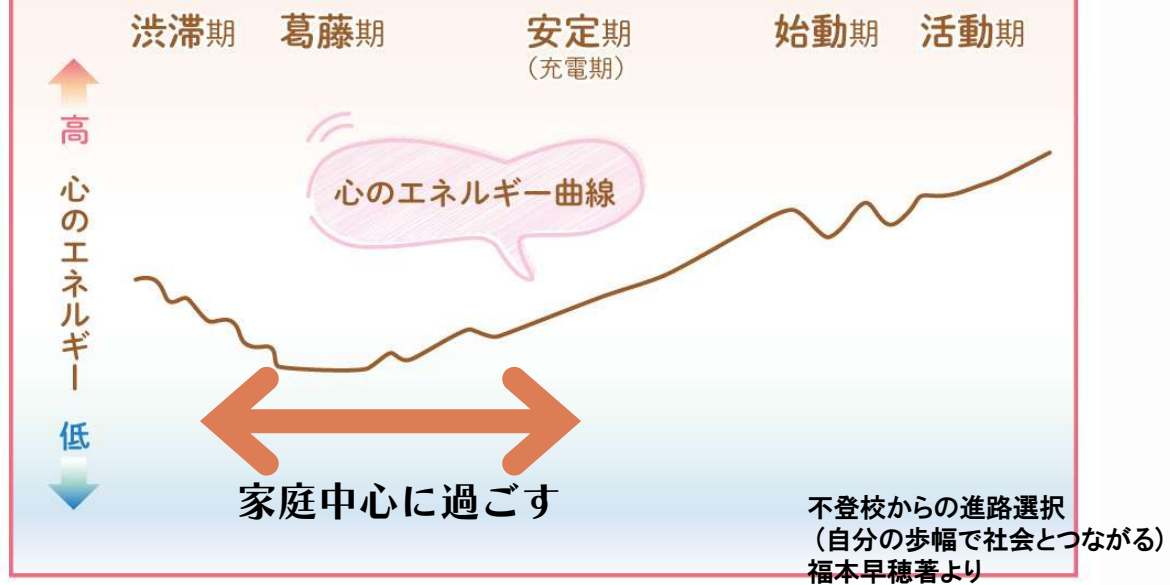
実際に体験をしてみましょう

グラウンドルール

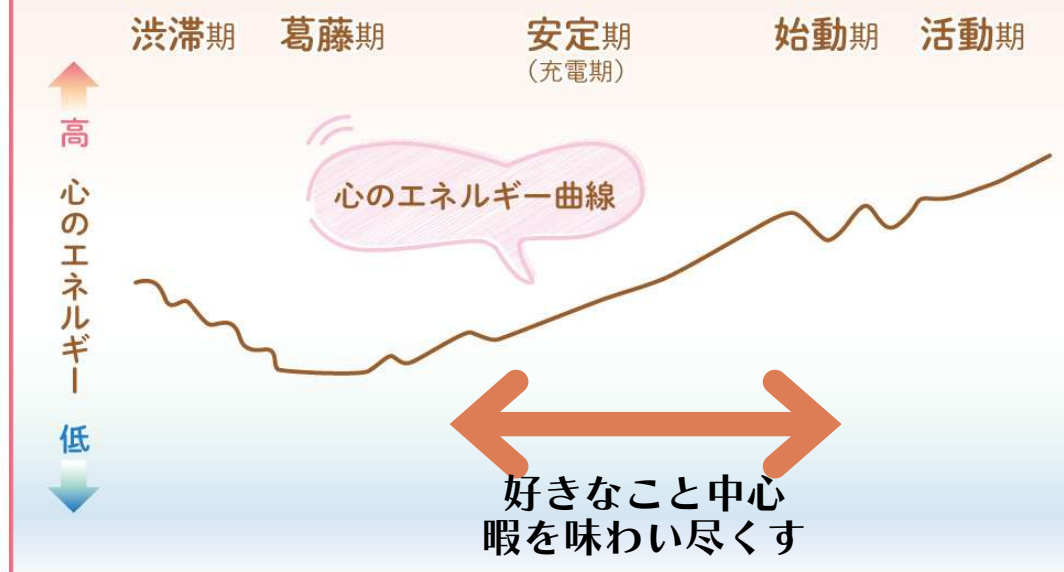
- ・ 聞いているだけの参加OK
- ・ メンバーが話せるような工夫を
- ・ 違う意見も受け止めましょう
- ・ 話すときは「自分の場合は～」
- ・ ここで聞いた話はここだけで



回復過程における心のエネルギー量



回復過程における心のエネルギー量



回復過程における心のエネルギー量

